

市町等の取組状況について



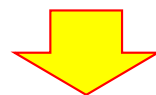
水防災意識社会
再構築ビジョン

目次

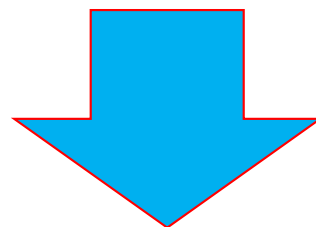
大阪市（職員参集に着目したタイムラインの作成、河川氾濫を想定した訓練） ...	1
吹田市（防災レボリューション～職員の意識を変える職員向け研修～）	2
高槻市（要配慮者利用施設の避難確保計画）	3
守口市（本市最大の都市公園を防災・スポーツ公園として再整備）	4
枚方市（『避難勧告等の判断伝達マニュアル』の更新）	5
茨木市（茨木市防災気象情報提供WEBサイトの運用を開始）	6
寝屋川市（大規模災害時における避難所開設及び運営訓練の実施）	7
大東市（避難誘導標識の整備）	8
門真市（災害時における施設の一時使用に関する協定を締結）	9
摂津市（「防災タウンページ」を活用した浸水想定等の最新防災情報の提供） ...	10
東大阪市（寝屋川流域における大規模水害タイムライン（多機関連携型））	11
島本町（風水害夜間避難対策訓練、まるごとまちごとハザードマップ）	12
気象庁（段階的に発表する防災気象情報の活用）	13
淀川河川事務所（ソフト対策とハード対策）	16

■職員参集に着目したタイムラインの作成

- 経緯：平成29年10月の台風第21号時に大和川の水位上昇に伴い、避難勧告等を発令しましたが、避難所開設（避難場所開放）が遅れました。
- 課題：避難所開設の準備等に必要時間があいまいでした。



◆対応：避難勧告等の発令およびそれに伴う職員参集（動員体制）に着目した
庁内用タイムラインの作成



■河川氾濫を想定した訓練

河川氾濫を想定したシミュレーション訓練を行い、水害時の初動、参集状況の確認等を動員計画とともに検証します。
（平成30年度実施予定）

吹田市の取組状況について

吹田市防災情報システムの導入

吹田市地域防災計画のブラッシュアップ及び防災体制の強化と、災害対応力の向上を図るための職員向け研修「防災レボリューション」を実施しました。

また、災害時の被害状況、対応状況、避難所の状況、職員の参集状況等の様々な情報を正確かつ迅速に把握しつつ情報を共有し、住民に対して適切な情報発信する必要があるため、これらをすべて網羅した「吹田市防災情報システム」を導入しました。

避難勧告等の判断・伝達マニュアル概要版 ~水害~

水害とは...
吹田市で想定される水害には、外水はん濫、内水はん濫、アンダーパス部の冠水といった種類があります。吹田市における外水はん濫については、大阪府の洪水リスク表示図などで想定区域を確認することができます。

外水はん濫

川の水量が増えることにより堤防が壊れ、堤防が壊れた箇所から水が溢れ出して浸水することです。家屋の倒壊や流出等、大きな被害を引き起こすことがあります。

内水はん濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、下水道管(雨水管)や水路から雨水があふれ、住宅地や道路が冠水することです。

アンダーパス部の冠水

アンダーパス部などでは、大雨時に冠水するおそれがあります。

水害の危険性が高まると...
吹田市から対象地域のみならず3段階に分けて避難情報を発令し、避難所(指定緊急避難場所)への避難開始を伝達します。水害時の避難は、事前避難が原則です。発令された情報の種類を確認し、自主的に避難行動を行います。

吹田市	市民のみなさん
避難準備・高齢者等避難開始	防災行政無線
避難勧告	広報車
避難指示(緊急)	おおさか防災ネット
	緊急速報メール
	自主防災組織
	自治会
気象情報	テレビ・ラジオインターネット

避難情報の種類	どんなときに発令	みなさんにとるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	河川の水位が避難開始水位に到達し、引き続き水位上昇が見込まれる場合等	○いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 ○施設を利用されている要配慮者に対して、避難所(指定緊急避難場所)への避難誘導及び支援行動を開始してください。
避難勧告	河川の水位がはん濫危険水位に到達した場合等	○身の安全を確保し、家屋、近所でのけいしないから避難場所へ避難しましょう。 ○浸水等が始まってからの避難は危険です。状況に応じて、自宅の2階以上へ避難をしてください。 ○地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難しましょう。 ○要配慮者利用施設については、スタッフを含めた全ての方の避難誘導を開始してください。
避難指示(緊急)	・水位が浸水危険に到達するおそれが高い場合等	○速ちに避難をしてください。 ○外出することによって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所や近所の頑丈で高い建物へ避難しましょう。

※大阪府洪水リスク表示図で、避難を要する区域を確認することができます。
※具体的な対象地域は吹田市ホームページにある「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を参照してください。

情報の入手方法
少ない雨でも長時間降り続けば、水害の危険性が高くなります。吹田市では、気象情報や河川の水位情報を確認し、避難勧告等の発令を判断しています。市民のみなさんこれらの情報に注意し、早めの避難を心がけてください。

- 大阪府 河川防災情報
URL: <http://www.osaka-taisen-portal.net/subibu/>
- 大阪府 河川情報(携帯版)
URL: <http://www.osaka-taisen-portal.net/subibu/mobile/index.html>
- 大阪府 洪水リスク表示図
URL: <http://www.river.pref.osaka.jp/map?size=1&mid=27203>



- ・対象者：全職員(特別職含む)
- ・研修内容：避難勧告等の判断・伝達マニュアル改正に伴う研修
吹田市幹部職員研修～目標管理型災害対応とは～等

■要配慮者利用施設の避難確保計画について

今後は、この「避難確保計画作成の手引き」のもと、施設管理者等に、対象となる施設の避難確保計画の早期作成や訓練を実施していただけるよう支援を行うことで、災害時の要配慮者利用施設の防災対応能力の向上を図ります。

平成29年6月 水防法・土砂災害防止法改正
関係部局と協議開始

平成30年2月 地域防災計画の修正
(要配慮者利用施設の記載)

平成30年3月 避難確保計画作成の手引き策定

平成30年4月 避難確保計画作成説明会の実施

《実施日》

- 第1回 平成30年4月17日 10:00～11:00
- 第2回 平成30年4月17日 14:00～15:00
- 第3回 平成30年4月18日 10:00～11:00
- 第4回 平成30年4月18日 14:00～15:00

《場所》

高槻市総合センター

《説明会対象施設数》

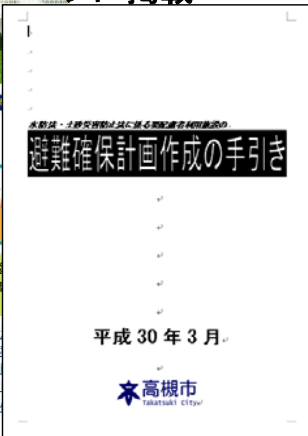
402施設

手引き及び様式等については高槻市ホームページに掲載

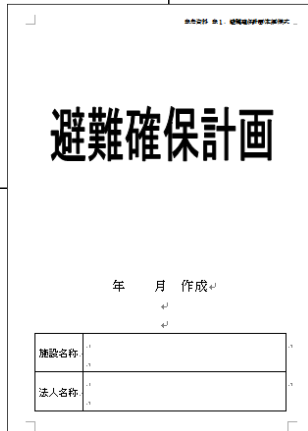
The screenshot shows the Takatsuki City website with a navigation menu and a search bar. The main content area features a green header for the 'Evacuation Assurance Plan Creation Guide' (避難確保計画作成の手引き). Below the header, there is a detailed introduction in Japanese explaining the legal basis and the city's commitment to supporting facility managers. A sidebar on the right contains a table of contents with links to various sections, including 'Evacuation Assurance Plan Creation Guide' and 'Evacuation Assurance Plan Template'. At the bottom, there are download links for PDF versions of the guide and a list of target facilities.



説明会実施状況



手引き



計画様式

守口市の取組状況について

■ 守口市における広域避難場所整備について～大枝公園～

本市最大の都市公園を防災・スポーツ公園として再整備



守口市の広域避難場所

- ・ 淀川河川公園
- ・ 花博記念公園鶴見緑地
- ・ 大枝公園

(平成29年9月15日に一時避難場所から広域避難場所へ変更)



大枝公園再整備事業(西側：平成28年度～平成29年度 東側：平成30年度)

供用面積：62,803.6㎡

スポーツ・防災公園をコンセプトに整備。平成30年4月には西側が完成・供用開始

西側 ・ 防災施設…防火樹林帯、防災パーゴラ、後方支援活動現地詰所(パークセンター)

非常用発電機(平成30年度施工) 発電量50KVA×2基 ※万一の浸水被害に対応するため嵩上げを行っています

・ 防災機能…臨時のヘリポート、物資の荷さばきスペース(屋内テニスコート=1,470㎡)

東側 ・ 防災施設…防火樹林帯、防災パーゴラ、ソーラー照明灯、避難園路等、耐震性貯留管

・ 防災機能…自衛隊などによる後方支援の活動場所



大枝公園での訓練風景 平成30年4月1日(日)

参加車両 自衛隊 7台 大阪府警察 3台 消防団 5台 守口市門真市消防署 3台 市水道局給水車 1台

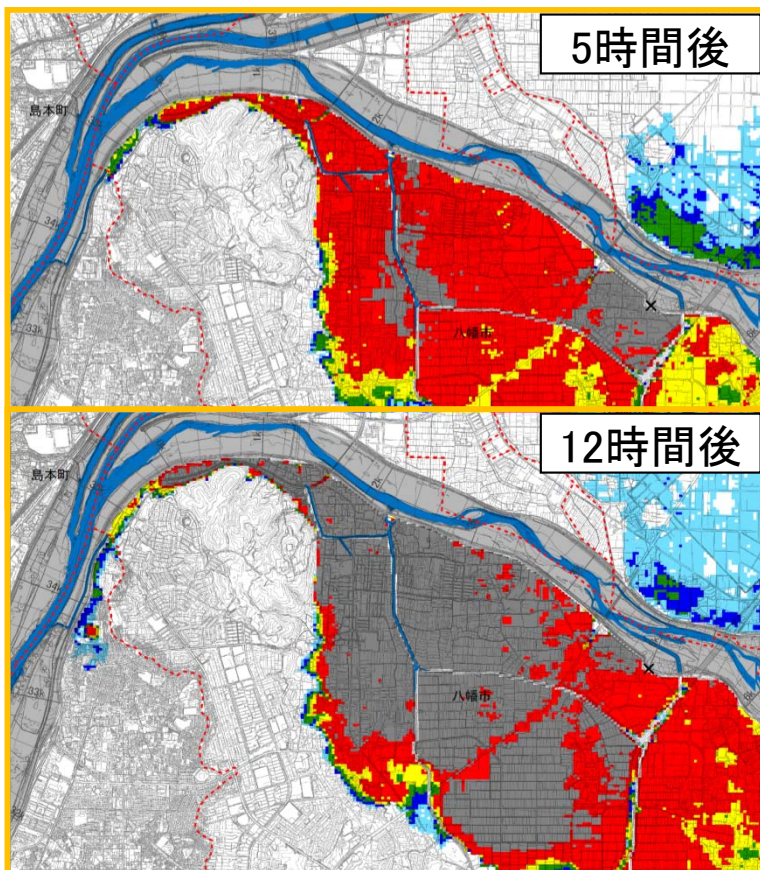
枚方市の取組状況について

■ 淀川水系の浸水想定区域図更新に伴う、『避難勧告等の判断伝達マニュアル』の更新

平成30年5月に、淀川水系の浸水想定区域図の更新に伴い、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)」を改定しました。

※木津川については市外を流れる河川であるため、避難情報の発令基準を淀川河川事務所からの助言を参考に設定しています。

木津川 破堤後の浸水エリア(時間経過)



木津川浸水時の避難情報の発令

木津川は本市外を流れている河川であるため、水位に基づいて避難勧告等を判断するのではなく、破堤してからの経過時間を判断基準に発令する。

	判断基準
避難準備	
避難勧告	八幡市側(左岸)で木津川が破堤してから、3.5時間が経過し、本市に影響を及ぼすおそれがある場合
避難指示	木津川が破堤してから、3.5時間以上が経過し、本市に影響を及ぼすおそれが高い場合

茨木市の取組状況について

■茨木市防災気象情報提供WEBサイトの運用を開始

大雨や台風等による災害発生時又は災害発生のおそれが高まった場合の、住民の迅速な避難等の防災行動に資するため、雨量・水位情報、関係機関からの各種気象情報及び市からの避難情報等、様々な情報を集約し、提供する防災気象情報提供WEBサイトを構築しました

The screenshot shows the website's main interface. On the left is a navigation menu with categories like '雨量・水位情報', '洪水予報', and '土砂災害警戒情報'. The main content area is divided into several sections: '注意報・警報' (Warning/Alert), '雨量・水位観測情報' (Rainfall/Water Level Observation Information), '洪水予報' (Flood Forecast), '土砂災害警戒情報' (Landslide Disaster Warning Information), '雨雲の様子' (Rain Cloud Status), '今後の雨の予想' (Future Rain Forecast), '衛星画像' (Satellite Image), 'アメダス' (Amebas), '天気図' (Weather Map), '台風情報' (Typhoon Information), '地震情報' (Earthquake Information), '公開カメラ画像' (Public Camera Images), and '防災関係リンク' (Disaster-Related Links). A '市からのお知らせ' (Notice from the City) box is also present, showing a message: '新しいお知らせはありません' (No new notices). At the bottom, there is a weather forecast section for '茨木市のこれからの天気' (Future Weather of Ibaraki City) and '茨木市の週間天気予報' (Weekly Weather Forecast of Ibaraki City).

雨量・水位情報

トップページ

市からのお知らせ

土砂災害情報

寝屋川市の取組状況について

■大規模災害時における避難所開設及び運営訓練の実施

寝屋川市では、地域協働協議会(24小学校区)で、地域の特性や実情に応じた避難所ごとの運営マニュアルを策定する取組を進めています。

大規模災害等に地域住民による効率的でスムーズな避難所開設・運営を行うため、マニュアルに基づき各小学校区にて避難所運営実践訓練を実施しています。



避難スペースの運営



受付班



掲示物班



炊き出し班



物資班



衛生班



大東市の取組状況について

避難誘導標識の整備

大東市では平成29年度に、浸水等の災害発生時に市民の生命・身体を守るため、一時避難場所および収容避難所として指定している学校等へ安全かつ迅速に避難誘導するための案内標識を整備しました。

- 1 生地 カラースチール
- 2 サイズ 420mm×297mm
- 3 制作枚数 200枚

【福祉避難所】



【指定避難所】

JIS規格
のピクト



方向と距離

避難所の種類

多言語対応

名称

対応する災害の種類

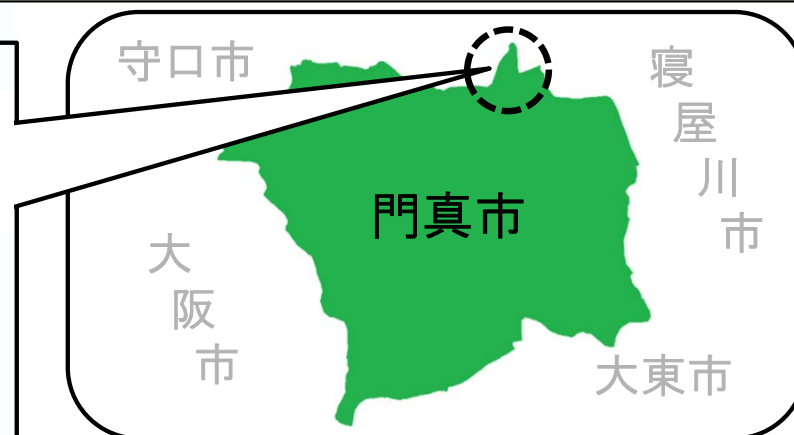
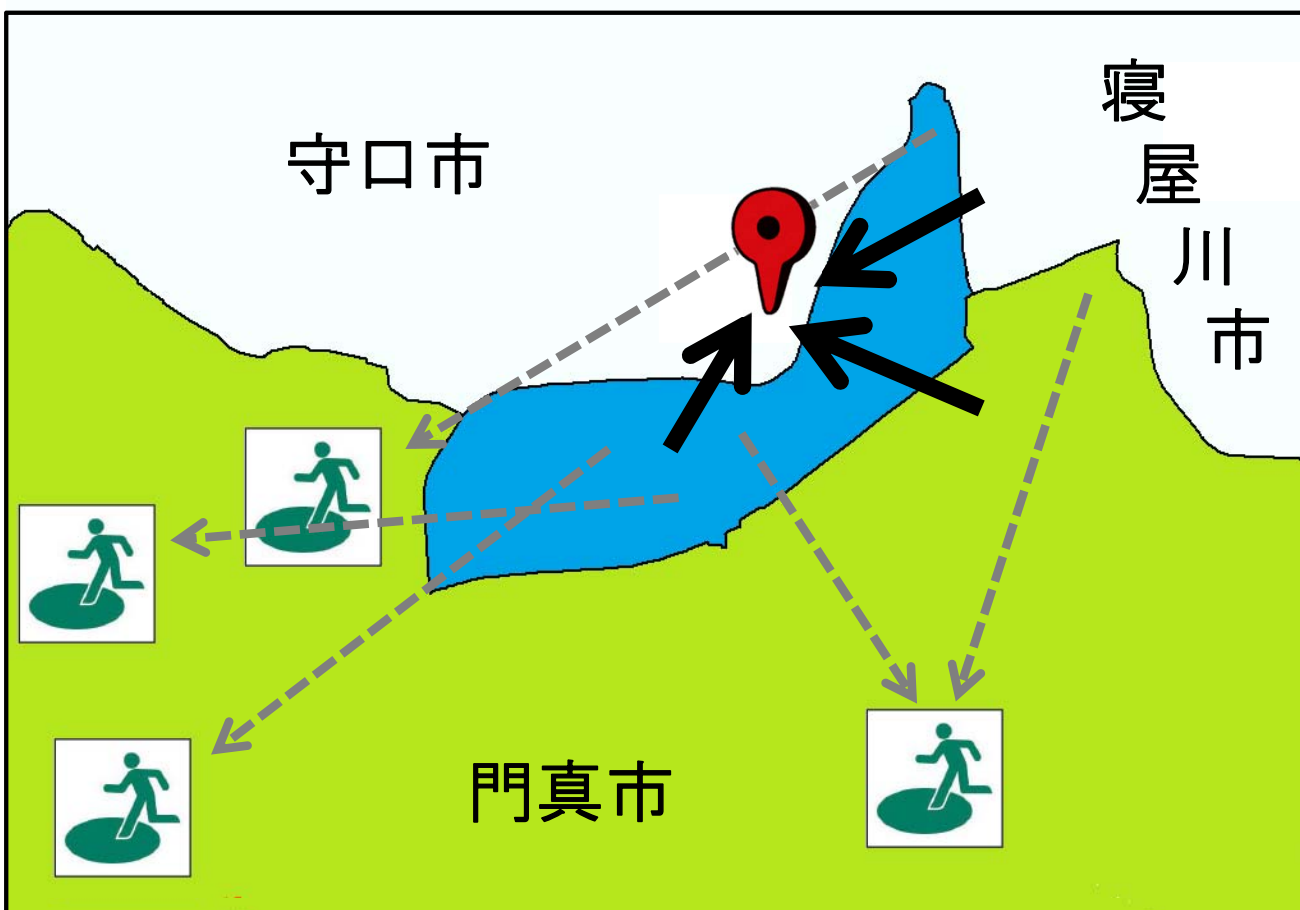
門真市の取組状況について

■ 災害時における施設の一時使用に関する協定を締結

門真市では、平成29年6月1日付で隣接市である守口市に所在する、大阪国際大学守口キャンパスの一部を災害発生時に一時避難地として使用する協定を締結しました。

協定の締結は、地域住民からの「避難所までの距離が遠く、避難に時間を要することが不安であり、近隣に所在する、大阪国際大学守口キャンパスに避難したい」という相談がきっかけでした。

門真市では、市域を超えた施設を一時避難地とすることは初めてであり、今後も協定の締結等によって地域住民目線での避難場所の拡充等に努め、水害の発生による被害の軽減をめざしていきます。



現地に設置した看板（左）

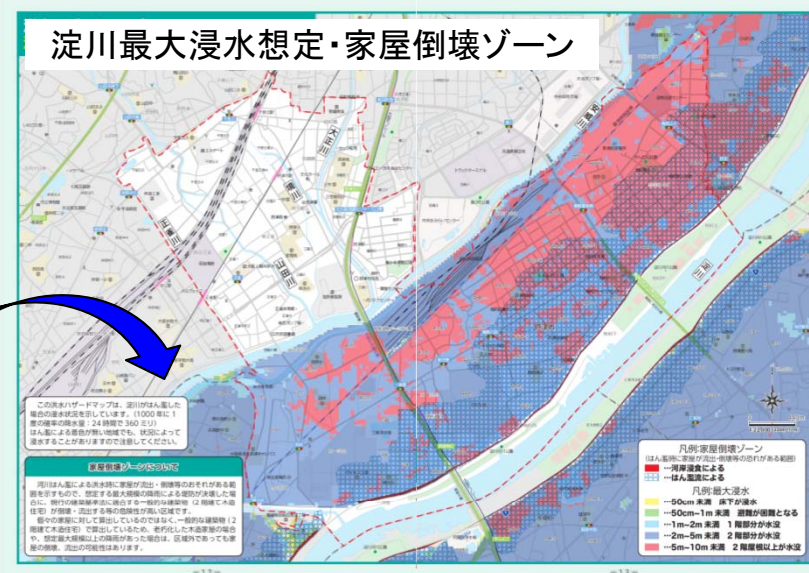
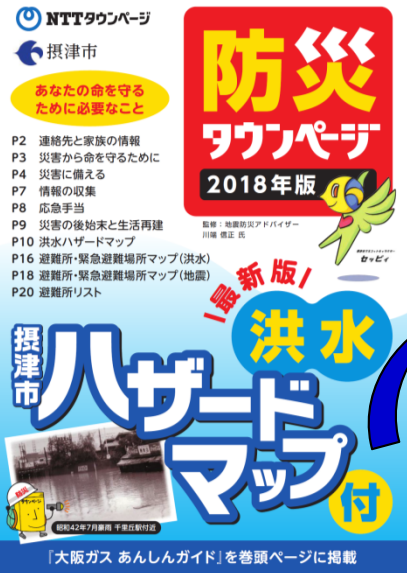


摂津市の取組状況について

■「防災タウンページ」を活用した浸水想定等の最新防災情報の提供

■防災タウンページの概要

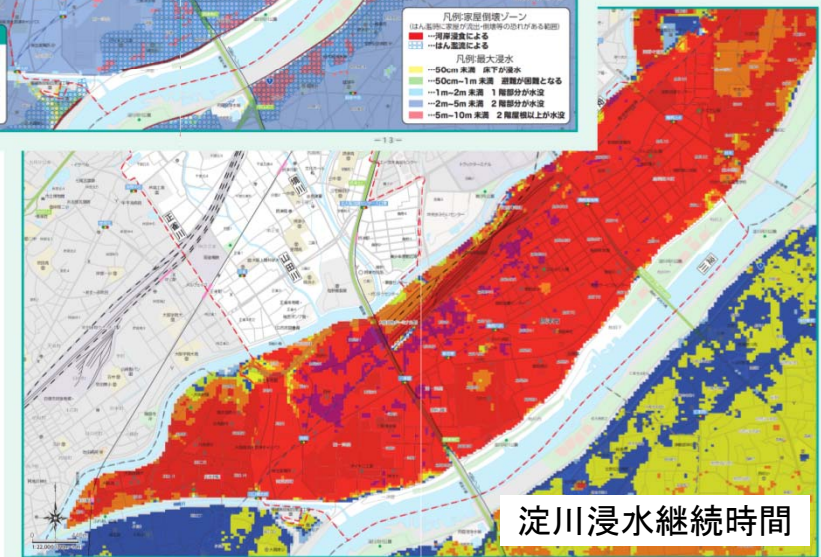
水防法の改正に伴う河川の浸水想定区域の見直しや近年各地で多発する災害に関する最新の防災対策を「防災タウンページ」に掲載することで、住民の皆様への情報提供を図りました。



防災タウンページのメリット

- ① 毎年配付される
 - ◆ 府管理河川の浸水想定見直しにも対応
 - ◆ 日々変化する災害情報の掲載
 - ◆ 情報提供の機会増
- ② 防災啓発物の一元化
- ③ 費用の削減

自分で自分の命を守るために！！



★防災タウンページにハザードマップを掲載するのは**摂津市が全国初！！** 10

■ 寝屋川流域における大規模水害タイムライン(多機関連携型)

平成29年7月、大阪府に事務局を置く寝屋川流域協議会に、近畿地方整備局、大阪府、流域市11市及びライフライン機関、公共交通機関等で構成される大規模水害タイムライン策定部会が発足されました。策定部会内で、平成29年10月の台風第21号の事例を基に、被害を軽減するための防災行動の抽出・タイミングの確認を行いました。

また、本市が大規模水害タイムラインの外水のモデル市となり、平成30年4月に、東海豪雨級の降雨を想定し、市各部局の防災行動を気象注警報や水位情報などの時間軸に落とし込みを行いました。

平成30年7月には、大規模水害タイムライン策定部会で最終調整を行い、その後寝屋川流域協議会でタイムラインを完成させ、図上訓練も併せて実施する予定としています。



■風水害夜間避難対策訓練、まるごとまちごとハザードマップ

①風水害夜間避難対策訓練

水平避難が困難な夜間における屋内での垂直避難の実施を呼びかける情報伝達訓練及び職員の災害対応訓練を実施しました。また、防災行政無線の難聴地域の洗い出しなどの課題を抽出しました。

②まるごとまちごとハザードマップ

想定される最大規模の降雨時に淀川が氾濫した場合、4mの浸水が予想される阪急水無瀬駅に洪水標識を設置し、防災意識の啓発に役立てました。

①風水害夜間避難対策訓練

6月 夜間
17 訓練
土曜日

平成29年度風水害夜間避難対策訓練

日時 平成29年6月17日(土)午後8時頃

訓練概要 町内全域を対象とした情報伝達訓練及び垂直(家庭内)避難訓練

参加機関 大阪府、府内市町村

目的 夜間の急な豪雨による洪水や土砂災害の発生に備え、情報伝達訓練及び垂直避難訓練を実施することにより、夜間より円滑な住民避難や災害応急対策への反映を図るとともに、住民が自らの身を守る行動の促進や意識の向上を図る。

情報伝達訓練 防災行政無線・エリアメール※1により情報発信※1エリアメールは、マナーモードでも音声が伝達されます。

垂直(家庭内)避難訓練 避難所は開設しません。各家庭(施設)内で安全な場所(家の2階・壁から離れた縁側)に避難してください。

中止基準 ①午後9時時点で大雨に関する注意報が発せられている場合もしくは大雨に関する注意報が発せられる可能性がある場合。
②当日、町内で震度4以上の地震が発生した場合。

問い合わせ：島本町役場総務部危機管理室 (075) 962-0380



- ・実施日：平成29年6月17日
- ・実施場所：島本町全域
- ・参加者：全住民

②まるごとまちごとハザードマップ



- ・実施日：平成30年3月19日
- ・実施場所：阪急水無瀬駅
- ・参加者：淀川河川事務所長、町長、議会議長、自主防災会連絡協議会会長、高槻市駅総括駅長ほか

気象庁の取組状況について (1/3)

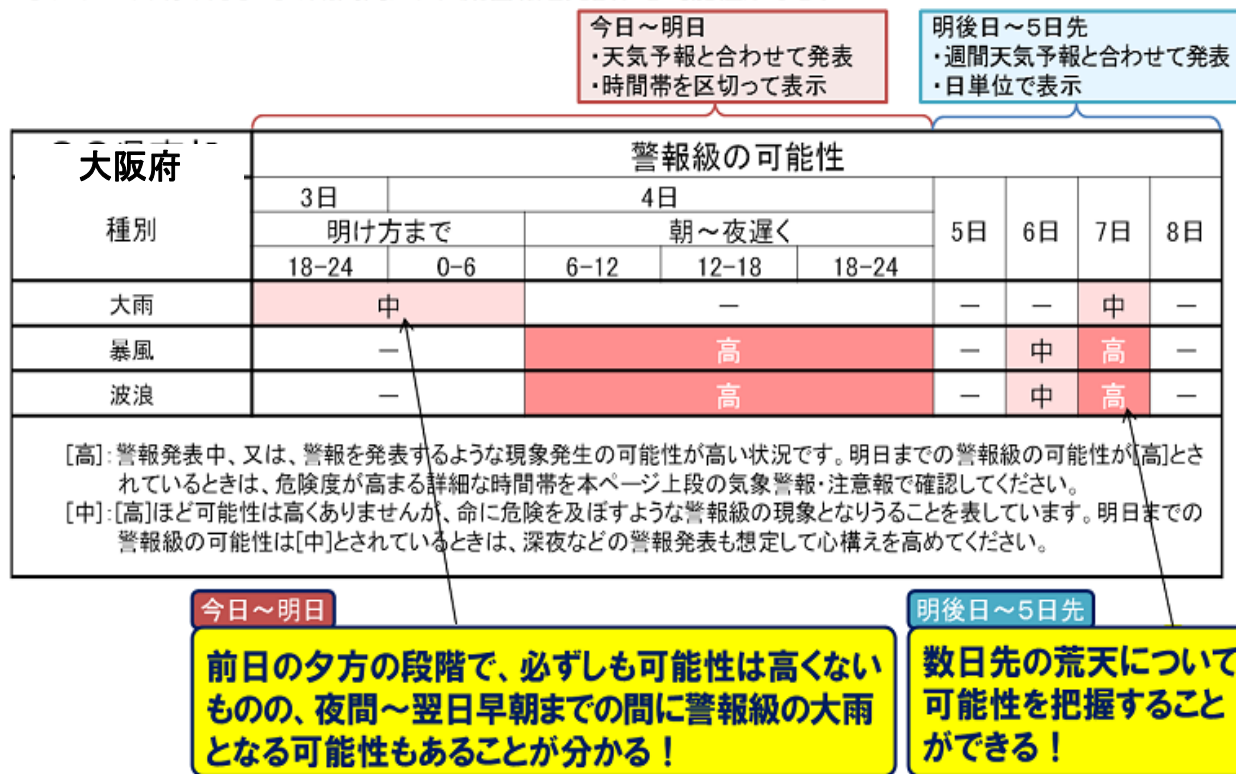
■段階的に発表する防災気象情報の活用

警報級の可能性 → 危険度を色分けした時系列 → 危険度分布

① 5日先までの「警報級の可能性」の提供

〇〇県南部の警報級の可能性

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。



気象台が発表する大雨警報には、浸水による重大な災害の恐れがあるときに警戒を呼びかける**大雨警報(浸水害)**と、重大な土砂災害発生のおそれ警戒を呼びかける**大雨警報(土砂災害)**の2種類に加え、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮の警報があります。

気象庁の取組状況について (2/3)

② 警報・注意報の「危険度を色分けした時系列」の提供

平成●●年10月22日09時28分 大阪管区气象台発表

大阪府の注意警戒事項
大阪府では、23日朝まで土砂災害に警戒してください。

●市 [継続]大雨警報(土砂災害) 雷, 強風, 波浪, 洪水注意報
22日夜のはじめ頃までに暴風警報に切り替える可能性が高い
22日夜のはじめ頃までに波浪警報に切り替える可能性が高い
22日夜のはじめ頃までに洪水警報に切り替える可能性が高い

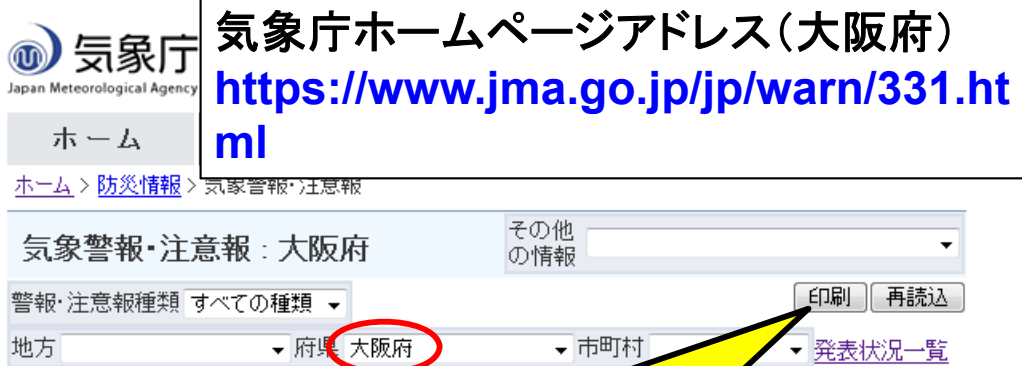
「警報級の現象が予想される期間」等を
視覚的に把握しやすい形で提供

- ※ 気象警報について
 - 「警報級の現象が予想される期間」の最大6時間前に発表しています。
 - 各警報の予測値は、「確度が一定に達した」ものを表示しています。

●市	発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象	
		22日					23日				
		9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9		9-12
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	50	60	80	100	100	80	80			
	(浸水害)										浸水注意
	(土砂災害)										以後も注意報級 土砂災害警戒
洪水	(洪水害)										
強風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	7	10	12	20	20	20	20	18	
		海上	10	16	16	30	30	30	30	20	
波浪	波高 (メートル)	1	1	2.5	3	4	4	3	2.5	2	以後も注意報級 うねり
雷											竜巻、ひょう

時系列表示により

今後の危険度の高まりを即座に把握できる



警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
 ■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

[警報・注意報\(文章形式\)へ](#)

従来からの文章形式も確認できる

「発表状況一覧」をクリックし、
見たい市町村名をクリックすると、
警報・注意報(図表形式)へ

③ 警報・注意報を補足する「危険度分布」の提供

濃い紫は「災害がすでに発生」していても おかしくない状況！

危険度分布では、土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっている場所を知らせます。

内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」でも、避難判断への活用が推奨されています。

■ 気象庁ホームページ トップ
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

または

● 土砂災害警戒判定メッシュ情報

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

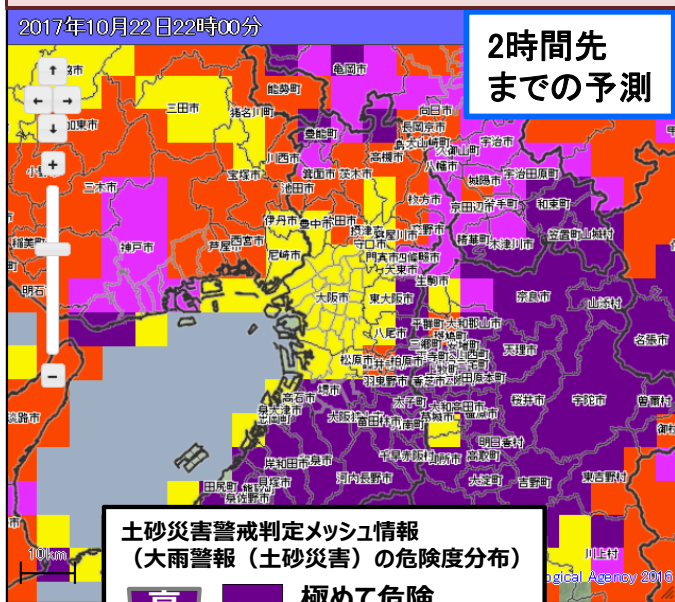
● 大雨警報(浸水害)の危険度分布

[tps://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html](https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html)

● 洪水警報の危険度分布

<tps://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

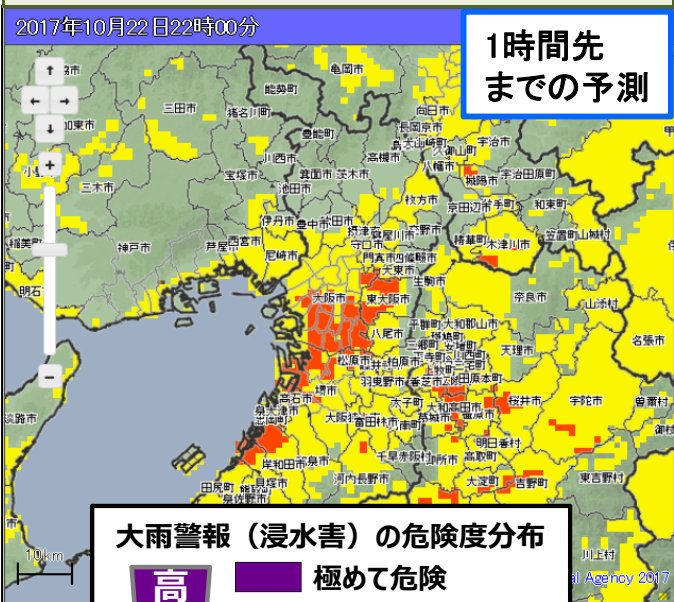
土砂災害警戒判定メッシュ情報



土砂災害警戒判定メッシュ情報
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

高危険度	極めて危険
危険度	非常に危険
低	警戒
	注意
	今後の情報等に留意

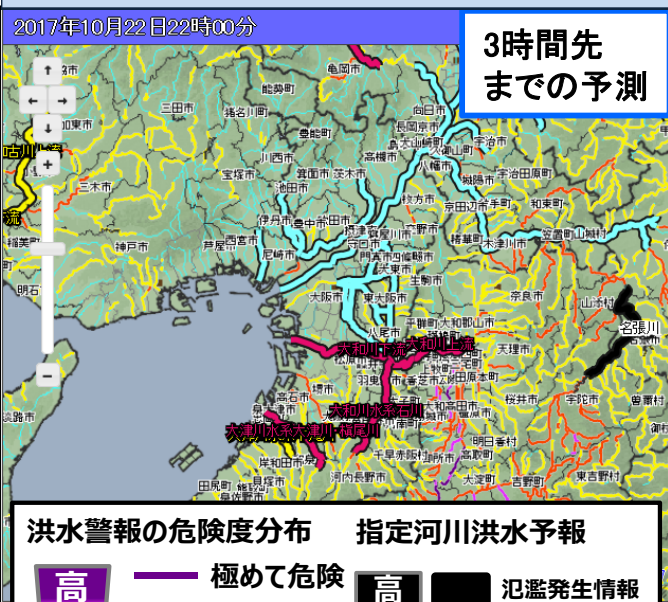
大雨警報(浸水害)の危険度分布



大雨警報(浸水害)の危険度分布

高危険度	極めて危険
危険度	非常に危険
低	警戒
	注意
	今後の情報等に留意

洪水警報の危険度分布



洪水警報の危険度分布 指定河川洪水予報

高危険度	極めて危険	氾濫発生情報
危険度	非常に危険	氾濫危険情報
低	警戒	氾濫警戒情報
	注意	氾濫注意情報
	今後の情報等に留意	発表なし

■直轄河川を対象とした想定最大規模降雨による洪水氾濫シミュレーションの公表

■地点別浸水シミュレーション検索システム(通称:浸水ナビ)とは

自分の住んでいる地域にどのような浸水リスクがあるのかを調べるために、浸水リスク等をアニメーションやグラフで表示させることができる検索システムです。自宅などの地点をWEBサイト上で指定することにより、

- ◇どの河川が氾濫した場合に浸水するか
- ◇河川の決壊後、どれくらいの時間で氾濫水が到達するか
- ◇どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか

などの浸水リスクを簡単に把握できます。

【従来】浸水想定区域図は、

- ・河川ごとに公表された図面を別々に見る必要
- ・複数の想定破堤点の重ね合わせ図で破堤点が不明(破堤点不明のため確認すべき水位観測所も不明)
- ・浸水深が幅のある色表示で、正確な浸水深が不明

といった課題がありました。

【地点別浸水シミュレーション検索システム】では、以下が可能となります。

- ・任意の地点(建物)から、浸水想定区域を逆引き検索可能
- ・想定破堤点別の浸水領域が検索可能
- ・想定破堤点に係る水位観測所の水位情報が検索可能
- ・任意の地点の浸水深を数値で表示
- ・時系列の浸水領域が表示可能

【従来】浸水想定区域図

- ・想定破堤点
- ・注意すべき水位観測所
- ・任意の地点の浸水深が不明

【地点別浸水シミュレーション検索システム】

- ・任意の地点を指定すれば、想定破堤点と、それに関係する水位観測所が検索可能

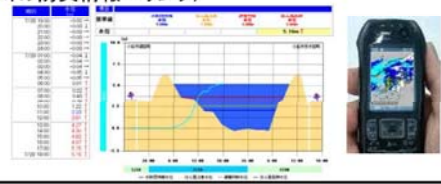


想定破堤点別に時系列の浸水領域が検索可能

破堤1時間後

破堤3時間後

注意すべき水位観測所の水位情報が検索可能(川の防災情報へリンク)



■淀川管内における直轄河川を対象とした浸水ナビの公開

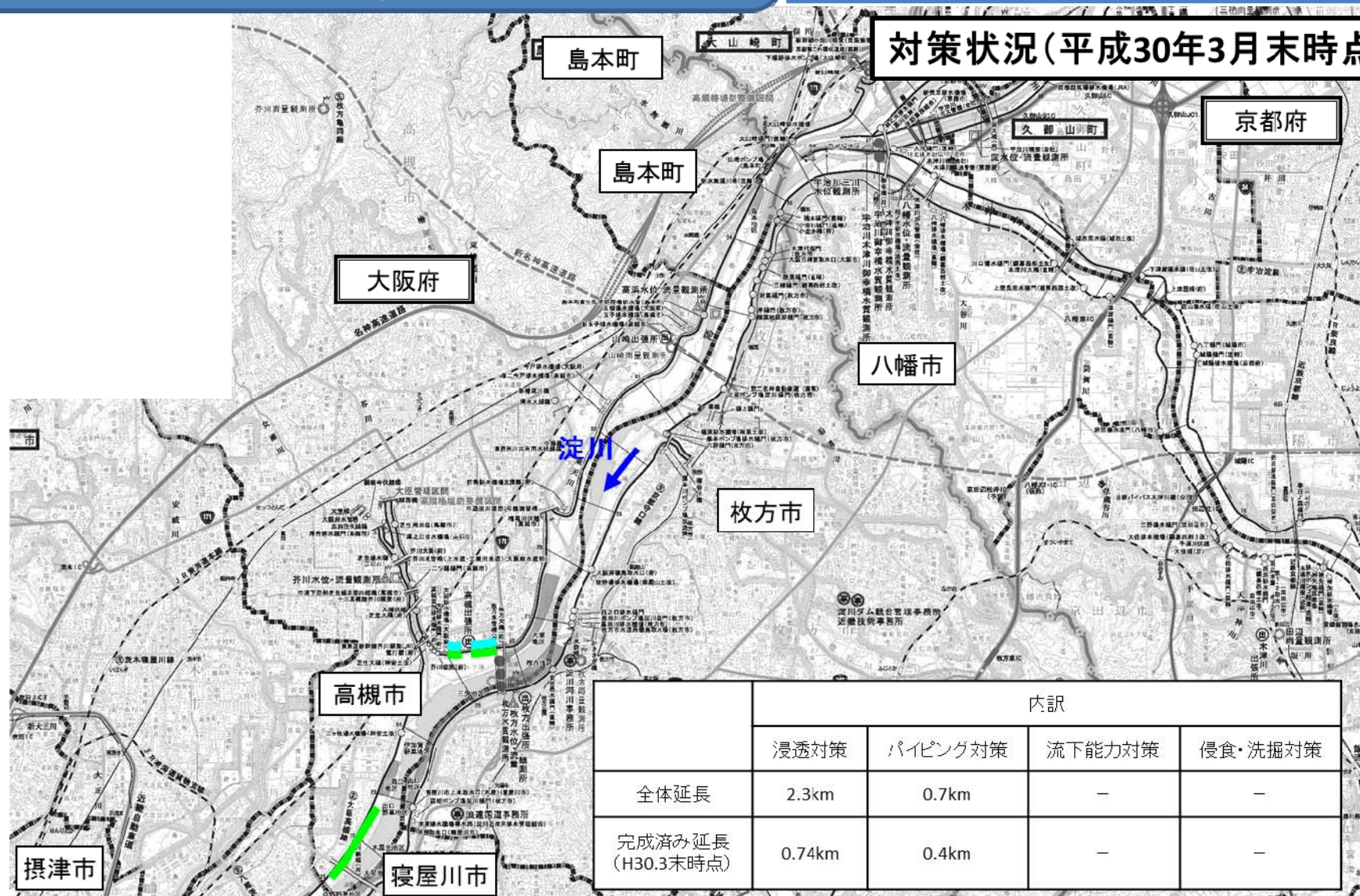
淀川管内洪水浸水想定区域図(H29.6公表)をもとに、浸水ナビに公開しています。

淀川左岸【枚方大橋下流】における破堤点氾濫アニメーションの例



洪水氾濫を未然に防ぐ対策 概要図 ＜淀川(本川)＞

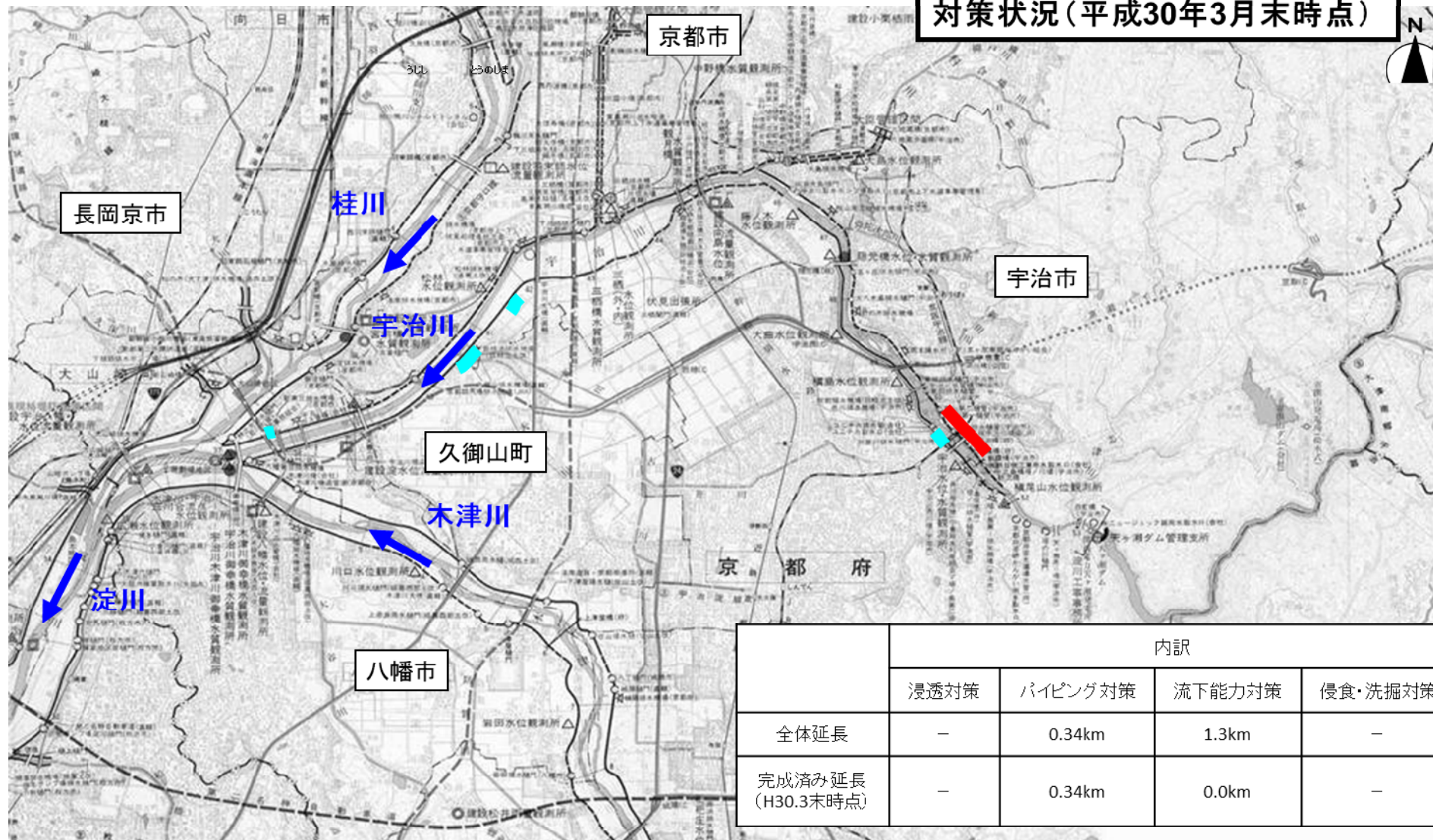
凡例 ■ 浸透対策 ■ パイピング対策
■ 流下能力対策 ■ 侵食・洗掘対策



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

洪水氾濫を未然に防ぐ対策 概要図 ＜宇治川＞

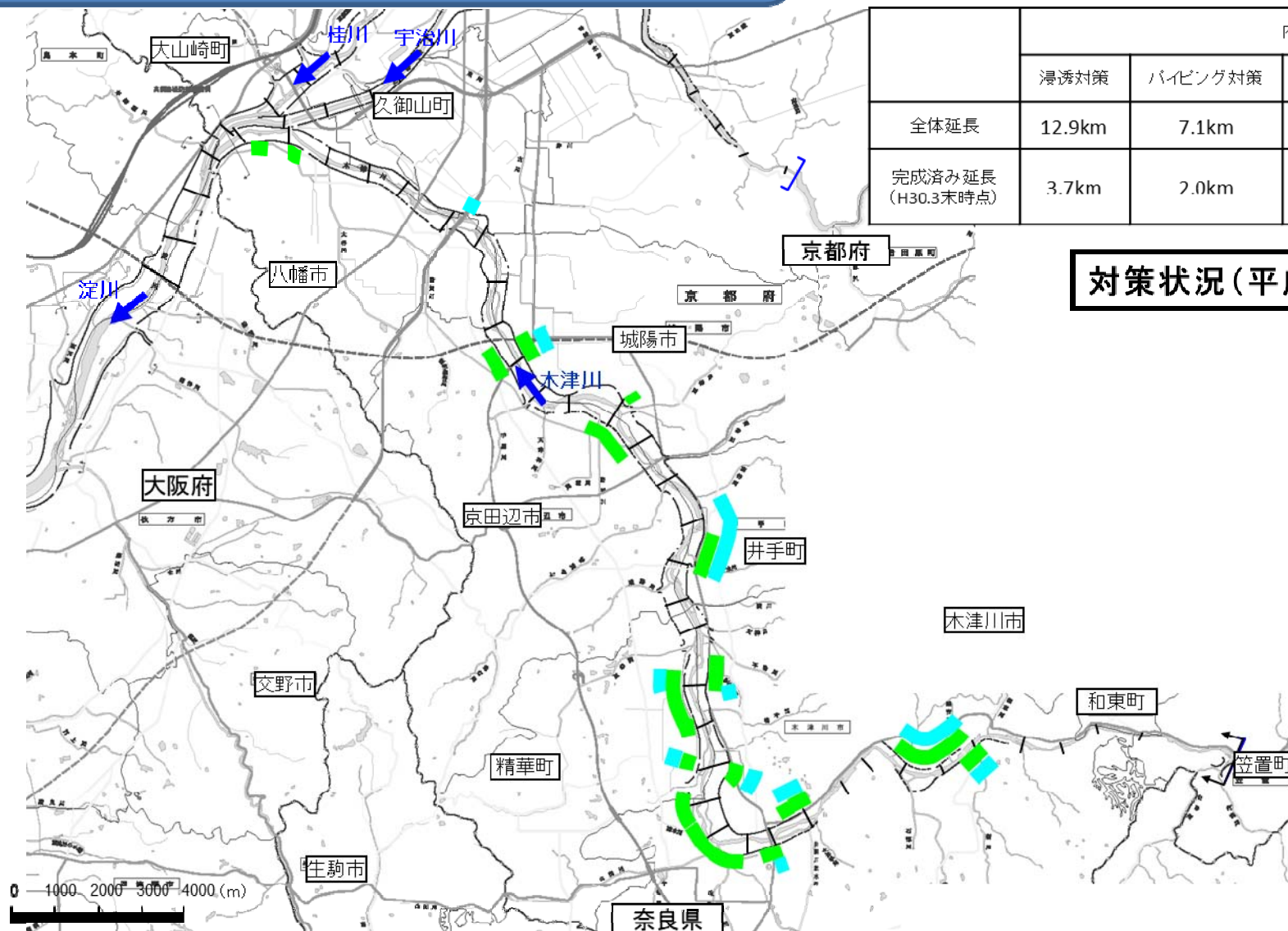
凡例 ■ 浸透対策 ■ パイピング対策
■ 流下能力対策 ■ 侵食・洗掘対策



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

洪水氾濫を未然に防ぐ対策 概要図 ＜木津川下流＞

凡例 ■ 浸透対策 ■ パイピング対策
■ 流下能力対策 ■ 侵食・洗掘対策



	内訳			
	浸透対策	パイピング対策	流下能力対策	侵食・洗掘対策
全体延長	12.9km	7.1km	—	—
完成済み延長 (H30.3末時点)	3.7km	2.0km	—	—

対策状況(平成30年3月末時点)

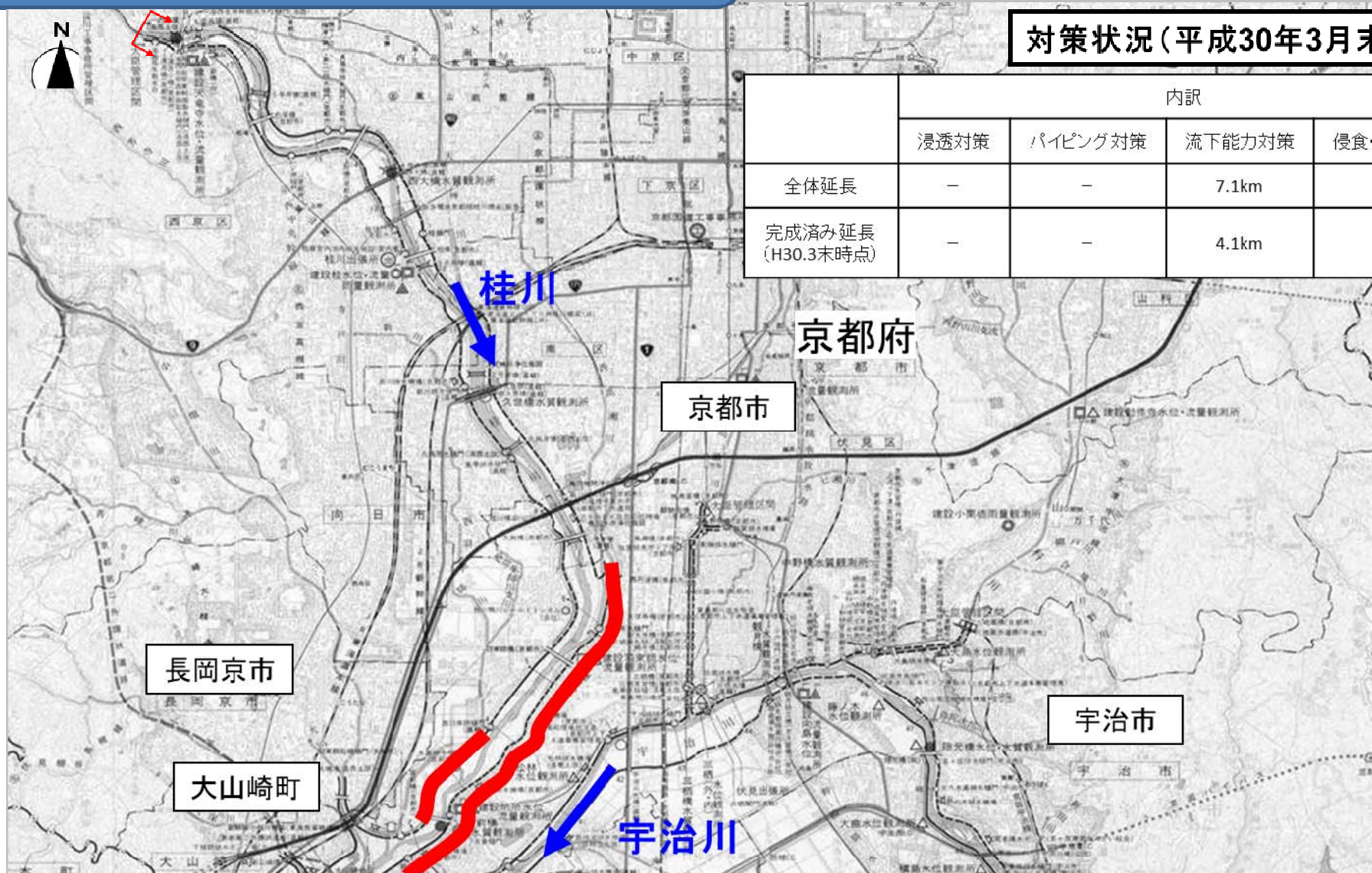
※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

洪水氾濫を未然に防ぐ対策 概要図 ＜淀川(桂川)＞

凡例 ■ 浸透対策 ■ パイピング対策
■ 流下能力対策 ■ 侵食・洗掘対策

対策状況(平成30年3月末時点)

	内訳			
	浸透対策	パイピング対策	流下能力対策	侵食・洗掘対策
全体延長	—	—	7.1km	—
完成済み延長 (H30.3末時点)	—	—	4.1km	—



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

危機管理型ハード対策 概要図 <淀川>

対策状況(平成30年3月末時点)

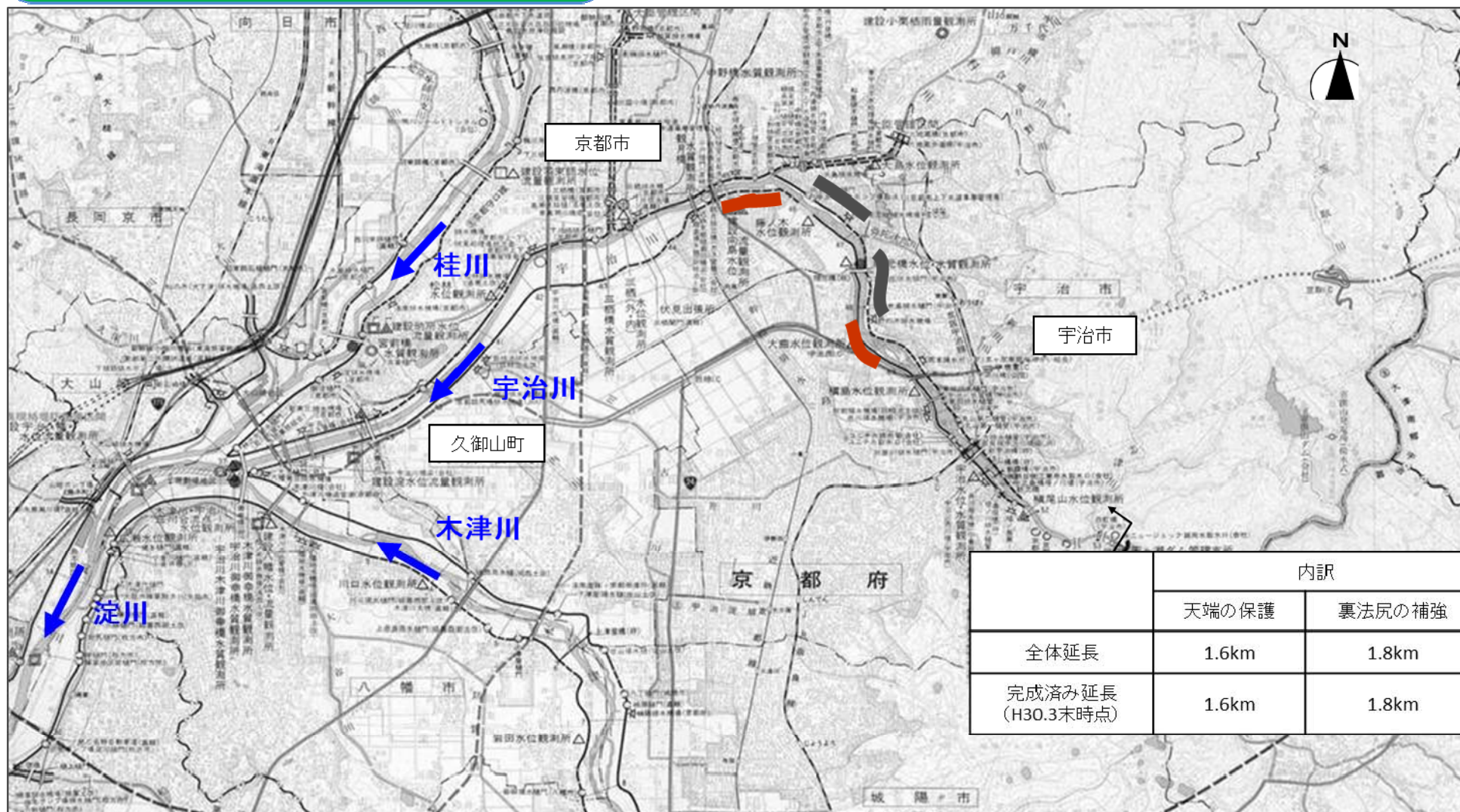


※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

危機管理型ハード対策 概要図 ＜淀川(宇治川)＞

対策状況(平成30年3月末時点)

凡例
 天端の保護
 裏法尻の補強



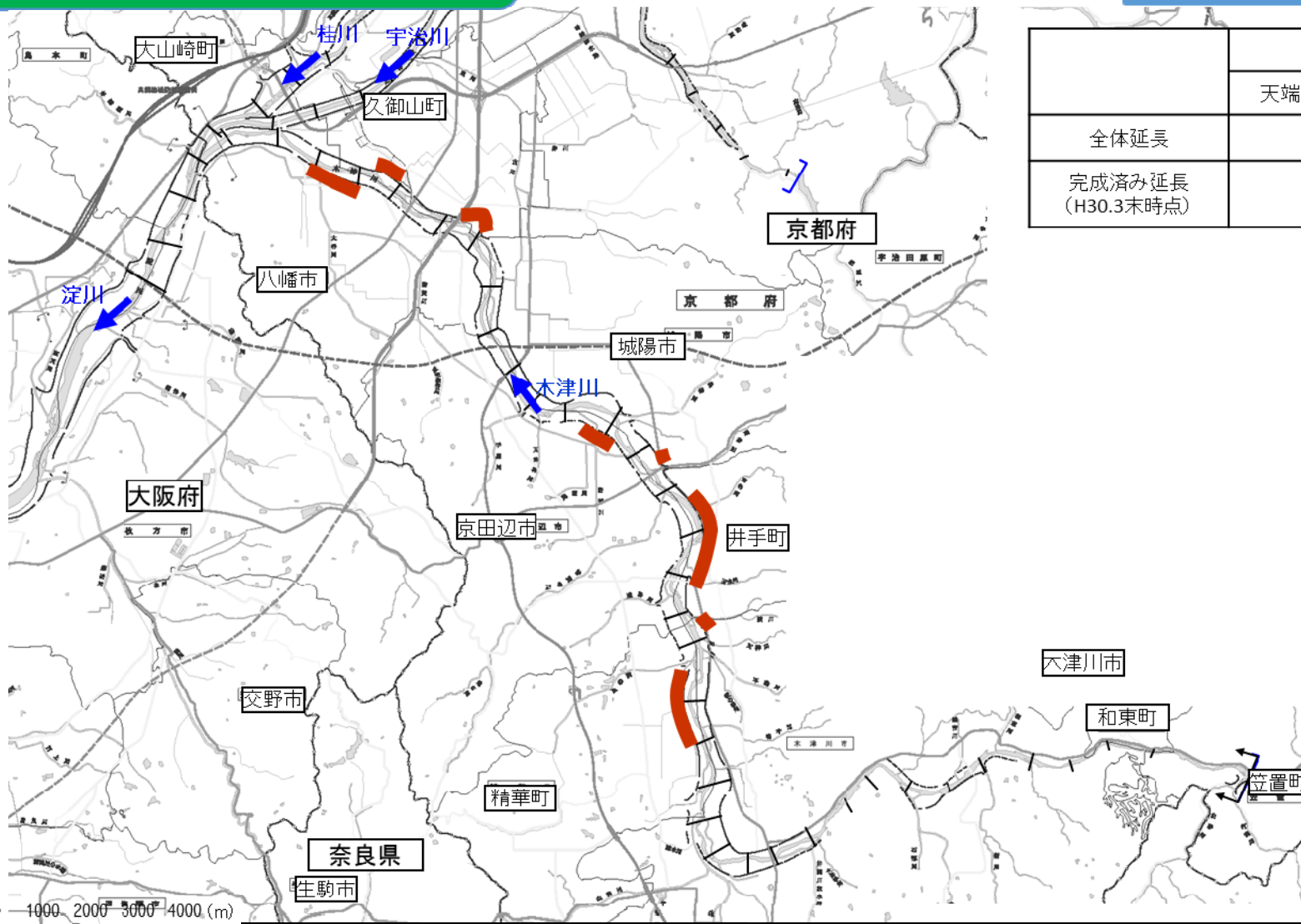
	内訳	
	天端の保護	裏法尻の補強
全体延長	1.6km	1.8km
完成済み延長 (H30.3末時点)	1.6km	1.8km

※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

危機管理型ハード対策 概要 〈木津川下流〉

対策状況(平成30年3月末時点)

凡例 ■ 天端の保護
■ 裏法尻の補強



	内訳	
	天端の保護	裏法尻の補強
全体延長	—	6.7km
完成済み延長 (H30.3末時点)	—	1.0km

※ 具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※ 危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
 ※ 表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※ 今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

危機管理型ハード対策 概要図 ＜淀川(桂川)＞

対策状況(平成30年3月末時点)

凡例  天端の保護
 裏法尻の補強

※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

	内訳	
	天端の保護	裏法尻の補強
全体延長	—	3.6km
完成済み延長 (H30.3末時点)	—	0.0km



水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組状況（大阪府域）

参考

H29年度末時点

目標を達成するために概ね5年間で実施する具体的な取組

具体的な取組の柱	事項（■：大分類）	主な内容（○：小分類）	課題の対応	目標時期*1	実施する機関																	地域住民	備考
					大阪府	吹田市	高槻市	守口市	枚方市	茨木市	寝屋川市	大東市	門真市	摂津市	東大阪市	島本町	水防事務組合	府	国				
1) ハード対策の主な取組																							
■洪水を河川内で安全に流す対策																							
	○浸透、侵食、パイピング、流下能力の対策の実施【1】	・直轄河川を対象とした、浸透対策、侵食対策、パイピング対策、流下能力向上対策工の実施	N	平成32年度															地盤●				
■危機管理型ハード対策																							
	○堤防天端の保護や堤防裏法尻の補強【2】	・直轄河川を対象とした、堤防天端及び法尻の保護工の実施	O	平成32年度															地盤●				
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																							
	○避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備【3】	・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	L	H28年度から順次実施															地盤●				
		・水防資機材の備蓄状況の確認	J	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地盤●			
		・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	L	引き続き実施																地盤●			
		・浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等の整備及び自家発電装置等の耐水化*1（※1：耐水化とは、浸水により機能停止とならないよう防水装備等を行うこと）	L	引き続き実施	●		◎	●	●			●	-	●			-	◎		地盤●			
2) ソフト対策の主な取組 ①地域ごとの特性に応じた避難方法を踏まえ、住民の主体的かつ適切な避難行動を促すための取組																							
■想定最大規模洪水を対象とした水害ハザードマップの作成・周知等																							
	○水害ハザードマップの更新・周知【4】	・直轄河川を対象とした想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表	A	H28年度															地盤●	活用			
		・直轄河川を対象とした想定最大規模降雨による洪水氾濫シミュレーションの公表	B	H28年度																地盤○	活用		
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に基づいた水害ハザードマップの策定・周知	D	H29年度から順次実施	④	◎	④	◎	④	◎	◎	◎	◎	④	◎	◎					活用		
	○避難に資するマップ等の整備・拡充【5】	・まるごとまちごとハザードマップの整備・拡充 ・広域避難場所や緊急避難広場の案内標識を設置 など	D	引き続き実施	-	◎	◎	●	●	◎	◎	◎	◎	④	-	●			地盤*2●	活用			
		・指定避難所までの避難ルートを示した避難マップ（マイ防災マップ）の作成 ・緊急避難場所の候補地選定、緊急避難体制の構築など、自治会や区単位等で洪水を対象とした防災マップを作成 など	D	引き続き実施	●	◎	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				地盤*2● インフラ*2●	活用			
	○ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用【6】	・ハザードマップの周知のサポートとして、ハザードマップポータルサイトや地図情報を提供	D	引き続き実施															国交省●	活用			
■適切な避難行動の実現に向けた取組																							
	○避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備【7】	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（H27.8）に準拠したマニュアル等の整備	C	引き続き実施	●	●	●	◎	●	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	地盤*2●				
		・想定浸水深の深い地域や家屋倒壊等氾濫想定区域*2などの情報をもとに、避難勧告等を発令すべき地域の設定に関する調整・検討 （※2：家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防決壊による洪水はん濫流や河岸侵食により家屋が倒壊する恐れがある）	C	H29年度から順次実施	④	④	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	地盤*2●				
		・避難勧告等の発令タイミングに関する調整・検討	C	H28年度から順次実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地盤*2●				
	○関係機関との情報共有体制の整備【8】	・避難勧告等の発令状況、避難所の開設状況など、関係機関と速やかに情報共有を行うための体制整備	C	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	○避難計画等の策定【9】	・自治体間における避難者の受け入れ等を踏まえた広域避難の検討	E G	引き続き実施	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎ ◎	地盤*2○	活用			
		・要配慮者や帰宅困難者等を対象とした避難計画の作成	G	引き続き実施	●	◎	●	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎		◎ ◎	地盤*2●			
	○避難訓練の実施【10】	・洪水を想定した避難訓練の実施	G	引き続き実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		参加			
	○避難誘導体制の整備【11】	・住民や外国人観光客を含めた避難誘導体制の整備	D G	引き続き実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成																							
	○避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定【12】	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定	C	H28年度	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎ ◎	地盤● 気象●			
		・訓練等の実施によるタイムラインの検証と改善	C	H29年度から順次実施	④	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎ ◎	地盤● 気象●			
	○気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）【13】	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 など	C	H29年度から順次実施															◎ ◎	気象◎	活用		
■防災教育や防災知識の普及																							
	○住民等を対象とした水防災に関する講習会等の開催【14】	・住民等を対象とした水防災に関する講習会等の開催	H	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地盤● 気象●	参加		
		○小学生や教員を対象とした水防災に関する講習会等の実施【15】	・担当教員を対象とした講習会（防災学習）の実施や、小学校の総合学習授業に水災害教育を取り入れる	H	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎				●	地盤● 気象●	参加	
	・防災知識の普及啓発活動等の実施		H	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地盤● 気象●	参加		
■避難行動のための情報発信等の充実																							
	○避難行動に資する情報発信等の充実【16】	・ブッシュ型による情報発信（洪水予報等）の整備	F	引き続き実施															◎	地盤◎	活用		
		・直轄河川における水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	F	引き続き実施																●	地盤●	活用	
2) ソフト対策の主な取組 ②発災時に可能な限りの避難時間を確保し、人命と財産を守るための水防活動強化の取組																							
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																							
	○市町と水防事務組合(水防団(消防団))の連絡体制の再確認等【17】	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施 など	J	引き続き実施	●	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
		○水防事務組合(水防団(消防団))や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検【18】	・国が実施する重要水防箇所の「共同点検*3」への参加（※3：共同点検とは、平成27年9月関東・東北豪雨を受けて全国の直轄河川で実施している「避難を促す緊急行動」に位置づけられている「共同点検（洪水に対してリスクが高い区間の共同点検）」を指すもの）	K	H29年度から順次実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎ ◎	地盤● 気象◎	参加	
	○関係機関が連携した実働水防訓練の実施【19】	・地域防災総合訓練等において水防事務組合と連携した訓練等の実施	J	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		地盤● 気象●	参加		
	○水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進【20】	・広報紙やホームページ等で水防活動の担い手の募集 ・地域の建設業者等も組み込んだ水防支援体制の構築 など	I	引き続き実施	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●						
2) ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び都市機能・社会経済活動の回復のための排水活動強化の取組																							
■排水施設の耐水化及び排水訓練の実施																							
	○排水施設の耐水化【21】	・浸水に備えた排水施設の耐水化*1の実施（※1：耐水化とは、浸水により機能停止とならないよう防水装備等を行うこと）	M	引き続き実施	●	●	-	-	●	-	●	-	-	●	-								
	○排水検討及び排水訓練の実施【22】	・大規模水害を想定した既存排水施設等の活用方法及び排水ポンプ車の設置箇所等、排水計画の検討 ・排水検討に基づく排水訓練の実施 など	M	引き続き実施	●	●	◎	-	●	◎	●	-	-	●	-				◎	地盤◎			

*1：実施済(実施中) ●、◎：H30.3以降実施(着手)予定、-：概ね5年間で実施する予定なし
 ①：H29年度第1四半期に◎から実施済(着手済)に更新 ②：H29年度第2四半期に◎から実施済(着手済)に更新
 ③：H29年度第3四半期に◎から実施済(着手済)に更新 ④：H29年度第4四半期に◎から実施済(着手済)に更新
 ◎：本協議会において検討予定の取組施策
 ○：具体的な取組みの対象なし

*1：施策の目標時期は、整備が整った自治体から実施するため、自治体によりばらつきがある。
 *2：自治体が主体となる取組を支援するもの